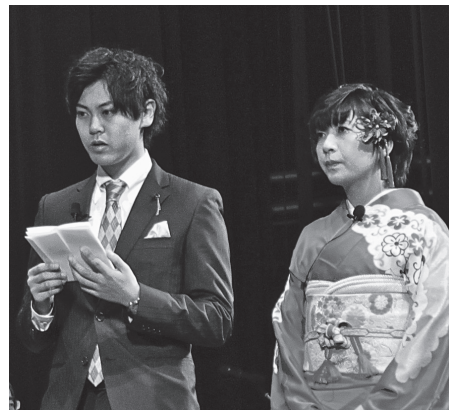




感謝と未来を切り拓く誓いを胸に ～平成 26 年竹原市成人式～



1月11日、市民館ホールで成人式が行われ、新人22人が参加しました。式典では、新成人代表の沖本光太郎さんと森山景さんが、「今まで支えてくださった方々に感謝するとともに、これからは社会に貢献し、周りの人々を支えていく社会人になります。」と、誓いの言葉を述べました。

アトラクションでは、成人式実行委員会が企画したビデオレターや感謝の手紙・歌などが披露され、感謝とこれからの決意を述べた新成人を祝う、心温まる激励の場となりました。

成人式を終えて ～成人式実行委員会からメッセージ～



前列左から：下垣内稔治、赤石稜、河島靖恭、中本匠
後列左から：渡辺正美、荒谷愛、山元優香、釜山正与、
沖本莉菜、吉兼由美子、谷山友里、高原志帆（敬称略）

私たちは成人式を企画した実行委員12人です。成人式が人生の節目として、みなさんの糧となるよう話し合いを重ねてきました。今回、私たちが企画した成人式のコンセプトは、「**激励・自覚・感謝**」の三つです。

1. 激励「ビデオレター」
親や先生、地域のみならず、著名人などから激励のビデオレターをいただきました。多くの人の支えがあったことを実感し、これからの人生を歩んでいく私たちの大きな力になりました。

2. 自覚「募金活動」
身近な社会貢献活動を行うことで、社会人としての自覚を持ちたいと考え、会場内に募金箱を設置し、新成人に募金を呼びかけました。募金額は18,190円で、日本ユニセフ協会を通じて発展途上国に送られます。



3. 感謝「感謝の手紙・歌」
4人の新成人が日頃言えない親への感謝の気持ちを手紙や歌で伝えました。

〔竹内広隆さん・母へ〕



「小学校の時から、如水館で野球をやりたい

と思っていた私のために、昼は歯科医院、夜はファミリーストランで働き、学費などを工面してくれました。練習が辛くて逃げ出したいと思ったこともあった

けど、母の存在があったから乗り越えることができました。また、悩んでいる時、母はいつも「あなたがやりたいようにすればいい」と背中を押してくれ、その度に私はまた一歩踏み出すことができ、挑戦することができました。今、私には二つの目標があります。一つ目は母に早く楽な生活をさせてあげることです。そのために今は色んなことに興味を持って学び、社会に出ても通用する人間になります。二つ目は将来子どもができたから、母がしてくれたように、夢ややりたいことを支えてあげられる親になることです。まだまだ未熟者ですがこれからもよろしくお願ひします。」（一部抜粋・修正）

この他、実行委員会ではプログラムや竹林をデザインした写真撮影看板などを作成しました。私たちの思いの詰まった、素敵な成人式になったと感じています。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

平成 27 年成人式実行委員を募集中！ 申し込み・問い合わせ 文化生涯学習室 ☎ 22-7757

公園へ シダレヤナギが寄附されました

12月25日、国際ソロプチミスト竹原から市へ、シダレヤナギ5本が寄贈されました。このシダレヤナギは、広島銀行跡地小公園(中央3丁目)に植えられます。公園の完成後は、訪れる人へ安らぎを与えてくれるでしょう。



安心・安全を守る 消防訓練を披露

1月12日、バンブー公園で、消防出初式が開催され、消防活動に貢献した団員への表彰や行進などが行われました。公開訓練では、竹原消防署に配備された「屈折はしご付消防ポンプ自動車」を使い、桜の木を障害物と見立てた救出活動に、拍手が巻き起こりました。



健康食品 正しく知って

1月22日、勤労青少年ホームで、消費生活講演会が行われ、69人が参加しました。竹原市消費生活相談員が講師となり、医薬品と健康食品の違いや、健康食品の正しい活用方法などを説明。健康食品に対する理解を深める機会となりました。



貴重な文化財を 自分たちで守る！

1月25日、県天然記念物のクスノキがある楠神社で、文化財防火訓練が行われました。通報訓練、初期消火訓練、放水訓練など、地域・消防団・消防署が一丸となって実施しました。今回の訓練で、文化財の大切さと防火への気持ちをより一層強くしました。



吉名地域のいいもの 大集合！

1月26日、吉名小学校で、吉名よがんすのお〜祭りが開催されました。

グラウンドでは、ステージで歌や踊りなどが披露され、物販・飲食ブースでは旬の味覚が並びました。野菜の販売ブースでは、新鮮な野菜を多くの人買い求めていました。

体育館では、吉名公民館の写真・作品の展示を眺める人や、凧やチョークアートの創作に取り組む子どもたちの姿も。大人も子どもも楽しめ、来場者の顔がほころぶ一日となりました。



小学校の卒業記念に 手作りの卒業証書と寄せ書き

1月27日、竹の駅で、中通小学校6年生の児童が、竹の卒業証書作りと竹筆による寄せ書きに挑戦しました。

竹の和紙を使った卒業証書の制作は15年前から行われ、今年も6年生が手作りしました。竹の繊維を木枠に入れ、水を吹き飛ばす作業では、あっという間に乾く様子に驚きの声が上がりました。

竹筆を使った寄せ書きでは、大きな紙に全員で夢や希望を書きました。

児童の思いが込められた寄せ書きと証書。卒業式で披露されるのが楽しみです。